

気になる子をもつ保護者との



日時 : 平成28年10月2日(日) 10:00~12:00 (9時半開場)

場所 : 社会福祉法人気仙沼市社会福祉協議会 マザーズホーム

気仙沼市松崎柳沢216-8 電話番号 0226-22-6683

司会・進行:野田 弘一(のだ こういち)氏

●内容 (1) ミニ講座 50分程度

「おいしく安全な食事のために! ~食べる機能の発達とお口の管理のポイント~」

講師:飯田 良平(いいだ りょうへい)氏 (鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座 助教)

(2) 懇談 小グループになって先輩保護者、専門家に質問

●対象 気になるお子様をお持ちの保護者、他、発達障害児支援の関心をお持ちの方どなたでも

アドバイザー : 作田 亮一 (さくた りょういち) 氏

(獨協医科大学越谷病院 子どものこころ診療センター長)

鈴木 涼子 (すずき りょうこ) 氏

(獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター、認定音楽療法士)

野田 弘一 (のだ こういち) 氏

(NPO 法人 CE センター 理事長)

浅川 和行(あさかわ かずゆき) 氏

(東京都八王子市教育支援課就学相談員)

牧田 彩加(まきた あやか) 氏

(東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科 臨床心理士)

菅原 康宏(すがわら やすひろ) 氏

(東京都健康長寿医療センター研究所 「5団体」事務長)

・・・参加費無料・・・

◆ 問い合わせ・申し込み先 気仙沼市マザーズホーム 熊谷 電話番号 0226-22-6683

参加を希望される方は、マザーズホームに9月30日(金)までお申し込み下さい。

主催 : 「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」

共催 : 気仙沼市、一般社団法人気仙沼市医師会、気仙沼地区地域医療委員会、気仙沼歯科医師会、気仙沼市社会福祉協議会、気仙沼介護サービス法人連絡協議会

➤飯田 良平 氏（鶴見大学歯学部高齢者歯科学講座 助教）

2011年4月より気仙沼市で活動を始めた。現在は2つの小学校で、居場所をつくる学習支援活動「学びーば」を継続している。有病高齢者の歯科治療、訪問診療、摂食嚥下リハビリテーションを専門として、気仙沼歯科医師会や食べる取り組みの関係者と共に、唐桑～南三陸町に至る老人福祉施設や病院、在宅にて、口から食べるためのリハビリのサポートをしている。趣味はキャンプ、料理、釣り。

➤作田 亮一 氏（獨協医科大学越谷病院 子どものこころ診療センター長・教授）

昭和57年日本大学医学部卒。日本大学板橋病院小児科で小児神経学を学び、平成3年国立精神・神経センター神経研究所研究員を経て、平成5年獨協医科大学越谷病院小児科講師。平成13年トロント小児病院神経病理学リサーチフェロー。平成21年獨協医科大学越谷病院小児科・子どものこころ診療センター教授。

専門領域：小児神経学、小児心身症、発達障害（自閉症、AD/HDなど）、神経・筋疾患。

主な所属学会：日本小児科学会（専門医、代議員）、日本小児神経学会（専門医、評議員）、日本小児心身医学会（理事）、日本発達神経科学学会（理事長）、日本ミトコンドリア学会（評議員）など。

著書：音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル（監修）春秋社、子どものこころ医療ネットワーク in 埼玉（監修）批評社、他

➤鈴木 涼子 氏（獨協医科大学越谷病院子どものこころ診療センター、認定音楽療法士）

都立芸術高校音楽学科ピアノコース在学中に音楽療法を知り、音楽療法を学べる日本大学芸術学部音楽学科音楽教育コースへ進学、卒業。日本大学大学院芸術学研究科博士前期課程・後期課程修了。芸術学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。

大学1年生より、障害児者に関わるボランティア活動を開始、大学4年生より、日本大学医学部附属板橋病院小児科にて発達障害児への音楽療法を開始。大学講師を経て現職。

専門は発達障害児に対する音楽療法。「ひらかれた音楽療法」を理想とし、音楽療法の実践、研究、発信を続けている。

著書：音楽で育てよう 子どものコミュニケーション・スキル 春秋社、2011、共著

音楽療法を知る-その理論と技法- 杏林書院、2014、共著

➤野田 弘一 氏（特定非営利活動法人CEセンター（NPO Child-rearing & Education support Center）、スクールサイコロジスト）

特定非営利活動法人CEセンターは、不登校や軽度発達障害を抱える子供たちとその家族ならびに子育て・教育関連機関に対して、各種相談や社会的自立に向けた援助等の支援、講演会・研修会等の普及・啓発などの支援事業をおこなうことを通して、日常の場ですべての子供たちがそれぞれ必要な援助をうけられる子育て・教育システムの実現に寄与することを目的として設立された。

代表を務める野田弘一氏は、1962年生まれ、秋田市出身。2005年不登校や発達障害で困難を抱える子どもたちとその家族の支援を目的に、特定非営利活動法人CEセンターを設立。心理・発達相談や社会的自立に向けた教育・療育などの支援活動をおこなっている。また、従来の態度・規範意識や精神論・観念論ではなく、エビデンスに基づいた保育と教育実践を支援するため、全国の保育園・幼稚園・小中学校を訪問。通常学級での認知的な偏りに配慮した授業を想定した初めての教科書、『みんなと学ぶ算数（学校図書）』の教科書ならびに指導書の執筆者。

➤浅川 和行 氏（東京都八王子市教育支援課就学相談員）

玉川大学教育学部卒。東京都の教員として、「通常級」を10年ほど担任し、その後、杉並、昭島、八王子の地域で「特別支援学級」を、その間に「七生特別支援学校（当時は養護学校）」も経験し、都合30年あまり障害児教育に携わってきたベテラン教師。発達障害児の地域連携でもご活躍。昨年度までは、東京都八王子市立第五小学校特別支援学級「みどり学級」教諭、「特別支援教育コーディネーター」。今年の4月1日から、八王子市教育支援課就学相談員として八王子市教育相談センターに勤務。

震災後の8月から、児童福祉施設等のお手伝いやスキルアップ研修講師として、度々気仙沼を訪れているパワフルな先生

➤牧田 彩加 氏（東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科 臨床心理士）

H24年3月 法政大学人間社会研究科臨床心理学専攻 卒業

H24年4月 東京都健康長寿医療センター リハビリテーション科 入職

H25年4月 臨床心理士

➤菅原 康宏 氏（東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科、東京都健康長寿医療センター研究所「福祉と生活ケア研究チーム」）

平成23年3月東京都を中途退職。退職後の2年間は、医療法人社団つくしんぼ会に所属しながら被災地のボランティア。

現在、東京都健康長寿医療センターリハビリテーション科及び東京都健康長寿医療センター研究所に在籍。

「気仙沼支援 医療・福祉関係5団体」事務長。

障がい者施設、老人医療センター、東京都児童相談センター、都立小児病院などで多彩な職務経験あり。

現所属学会は、日本老年行動科学会、日本公衆衛生学会。